

新青丸 共同利用研究航海報告書

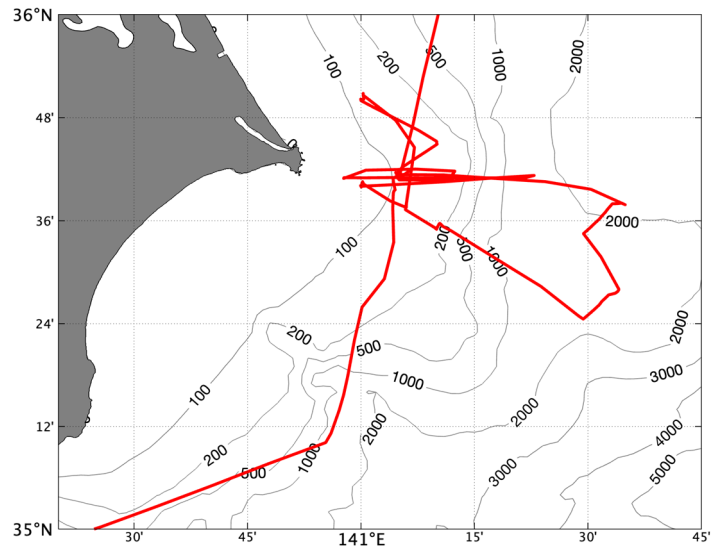
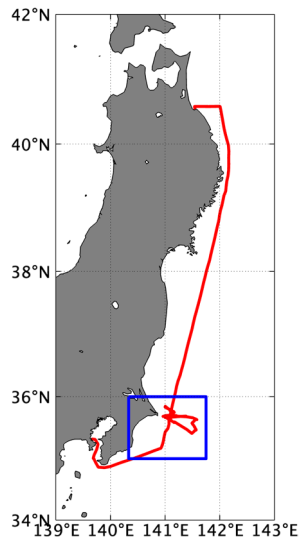
- * 航海番号 KS-24-16 次研究航海
- * 航海名称 銚子沖陸棚域における栄養物質の循環と利用様式の解明
Understanding of nutrient circulation and utilization patterns
in the shelf area off Choshi
- * 観測海域 銚子沖
Off Choshi
- * 航海期間 令和 6年 8月21日(水) ~ 令和 6年 8月26日(月)
- * 出港日時・場所 8月21日 14時 横須賀港
- * 入港日時・場所 8月26日 10時 八戸港
- * 寄港期間・場所 なし
- * 研究課題 銚子沖陸棚域における栄養物質の循環と利用様式の解明
- * 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)
伊藤幸彦・東京大学大気海洋研究所・准教授・itohsach@aori.u-tokyo.ac.jp
- * 研究内容, 主調査者(e-mail アドレス), 観測項目
 1. 乱流計と栄養塩計測による水柱の栄養塩フラックス評価
伊藤幸彦(itohsach@aori.u-tokyo.ac.jp)、CTD/VMP/UCTD/ADCP
 2. 堆積物間隙水の栄養塩分析による海底-水柱栄養塩フラックス評価
伊藤幸彦(itohsach@aori.u-tokyo.ac.jp)、CTD/マルチプルコアラー
 3. 炭素同位体およびラジウム同位体を用いた陸域起源の有機物の動態把握
中島壽視(t-nakajima@aori.u-tokyo.ac.jp)、CTD・大量採水
 4. 係留観測による陸棚上の流動・水温・塩分およびクロロフィル極大の実態解明
伊藤幸彦(itohsach@aori.u-tokyo.ac.jp)、係留系
 5. 曳航 ADCP を用いた大陸棚直上の流動構造の実態把握
柳本大吾(daigo@aori.u-tokyo.ac.jp)、曳航 ADCP (V-fin)

6. セジメントトラップを用いた沈降粒子の実態解明
鋤柄 千穂 (sukigarac@jamstec.go.jp)、セジメントトラップ係留
7. 小型漂流ブイを用いた水平拡散係数の推定
伊藤幸彦 (itohsach@aori.u-tokyo.ac.jp)、漂流ブイ
8. 表層海水連続分析による沿岸系水の分布推定
伊藤幸彦 (itohsach@aori.u-tokyo.ac.jp)、表層環境モニタリング装置
9. 環境 DNA 分析による魚類相分布解明
伊藤進一 (goito@aori.u-tokyo.ac.jp)、eDNA
10. 一次生産者の深層への輸送に動物プランクトン糞粒が果たす役割の解明
下仲雄大 (shimonaka-takehiro209@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)、飼育ネット
11. 日本近海表層のプラスチックごみ付着生物相の解明
下仲雄大 (shimonaka-takehiro209@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)、ニューストーンネット

* 乗船研究者氏名・所属・職名

伊藤 幸彦	東京大学・大気海洋研究所	准教授
乙坂 重嘉	東京大学・大気海洋研究所	准教授
柳本 大吾	東京大学・大気海洋研究所	助教
高橋 杏	東京大学・大気海洋研究所	特任研究員
中島 壽視	東京大学・大気海洋研究所	特任研究員
王 雪丁	東京大学・大気海洋研究所	大学院生
寒田 倫子	東京大学・大気海洋研究所	大学院生
八木 敬弘	東京大学・大気海洋研究所	大学院生
下仲 雄大	東京大学・大学院農学生命科学研究科	大学院生
堤 英輔	鹿児島大学・水産学部	助教
鋤柄 千穂	海洋研究開発機構・地球環境部門	副主任研究員
金子 仁	海洋研究開発機構・地球環境部門	研究員
林 靖人	海洋研究開発機構・超先鋭研究開発部門	研究員

* 航跡・測点図



航跡：（左）全体、（右）銚子沖